

薬剤師の育成プログラム

※各一人一人に合わせたペースで、3ヶ月～1年程度かけて研修を行います。
 ※病院・保険調剤薬局の経験にも配慮し、研修を進めています。

令和5年4月現在

期間		研修内容
I期	前半	オリエンテーション ・薬剤部内の業務と内容 ・感染対策について ・廃棄物の取り扱いについて
		計数・計量調剤に関すること（内用薬等） ・処方せんの種類・形式・記載事項 ・薬剤部の取り決め事項 ・計数調剤
		電子カルテに関すること ・電子カルテの運用 ・物流システムの運用
		計数・計量調剤に関すること（内用薬等） ・内用散剤の調剤 ・内用液剤の調剤 ・錠剤の粉碎化 ・電子カルテの操作方法（調剤関連部分）
		計数・計量調剤に関すること（内用薬等） ・医薬品の主な剤型 ・薬歴の見方について ・外用薬の種類と調剤
	後半	計数・計量調剤に関すること（内用薬等） ・調剤用機器の取扱い ・自己注射用の薬剤の取扱い ・錠剤の1包化 ・持参薬の確認
		安全対策に関すること ・過誤防止のための対策 ・インシデント報告について
		医薬品の管理・供給・保存に関すること ・納品から使用までの医薬品の動き ・物流システムの操作方法
その他特別な配慮を要する医薬品に関すること等 ・麻薬及び向精神薬の保管と管理		
II期	前半	計数・計量調剤に関すること（内用薬等） ・医薬品の相互作用 ・医薬品の鑑別 ・疑義照会の方法 ・監査の方法
		製剤業務に関すること ・院内製剤の意義と目的 ・院内製剤の種類と作業 ・休日の院内製剤の取扱いについて
		計数・計量調剤に関すること（注射剤） ・注射剤調剤の流れ ・注射せんの記載事項について ・払い出しについて ・血液製剤の管理と取扱い
	後半	計数・計量調剤に関すること（注射剤） ・注射剤の配合変化について
		製剤業務に関すること ・高カロリー栄養輸液などの注射剤の混合操作の実施
		計数・計量調剤に関すること（注射剤） ・特別な注意を要する注射剤の取扱い
		製剤業務に関すること ・抗がん剤の取扱と混合操作について
		計数・計量調剤に関すること（注射剤） ・注射せんの記載に伴い、患者個別のトレイにセットを組む
III期	前半	薬剤管理指導業務と患者への服薬指導に関すること ・病棟業務の意義と目的 ・電子カルテの操作方法（服薬指導業務部分）
		化学療法に関すること ・化学療法の流れについて ・レジメンによる監査、調剤、払い出しについて
		薬剤管理指導業務と患者への服薬指導に関すること ・入院患者に対する服薬指導
		医薬品情報（DI）に関すること ・医薬品情報の収集と整理及び提供
	後半	医薬品の採用に関すること ・薬事委員会の概要
		プレアボイドに関すること ・プレアボイドの意義と目的 ・報告の仕方
		当直業務に関すること ・業務の流れと内容について（含、電子カルテの操作方法） ・緊急時の連絡体制の確認 ・鍵の取扱いについて
		・実習
以降随時	病棟薬剤業務に関すること	
	各種チーム医療に関すること	